



木下けんじ事務所 〒239-0822 横須賀市浦賀5-8-5-1102

TEL(FAX)046-841-6326 携帯電話:090-5303-0828 URL http://k-kinoshita.jp/



- 所属常任委員会
- ・議会運営委員会
- ・教育経済常任委員会
- ・廃棄物処理等特別委員会
- ・議会基本条例検討委員会

○平成22年第2回定例会

6月9日(水)から6月22日(火)の間、第2回定例会が開催されました。

1 横須賀市議会基本条例の制定

6月22日、本会議において、「横須賀市議会基本条例」の制定及び「横須賀市議会会議規則」の改正が議員提案され、全員一致で可決しました。

議会基本条例は、昨年2月に検討委員会が設置され、延べ23回にわたる審議及びパブリックコメントを経て成案となったものです。この議会基本条例は、前文、全10章からなる本文32条及び附則で構成されています。特筆すべき点は以下のとおりです。

- ・本条例の位置づけ:議会の最高規範性
- ・議員定数の定め:当面現行の43名(将来の議員定数については別途検討中)
- ・委員会:従来の4常任委員会に加え予算決算常任委員会を新設
- ・市民と議会の関係:情報の積極的公開、議会報告会等の実施
- ・市長と議会の関係:二元代表制の明確化
- ・一般質問等:一問一答方式の導入

この議会基本条例は関係各議員が一から作り上げたものです。本条例の検討に際し、

関係各議員は、自分達は何者なのか、地方議会はこれからどういう方向に進むべきか、真剣に議論を重ねました。地方分権が進む中で、地方議会の重要性は増えています。議会の責務として、市民の負託に応えるため、この条例に則る厳正かつ活力ある議会運営が求められていると考えます。

2 横須賀美術館:谷内六郎作品返還請求



横須賀市は、横須賀美術館に所蔵する谷内六郎氏作品の返還を求められています。

5月12日、市は谷内氏遺族から作品返還を請求する通知書を受領しました。同通知書の要旨は、市が谷内氏の長女へのアドバイザー委嘱

を、4月に打ち切ったことを理由として、①引き渡し済み作品の2週間以内の返還②谷内作品の展示の禁止③返還されない場合、訴訟手続きをとる意思表示 等です。

市議会ではこの問題を受け、5月20日、全員協議会を開き、吉田市長にこれまでの経緯や見解を質しました。また、6月9日の本会議・一般質問においても議員から質問が相次ぎました。

この事案は、これまでの経過や谷内氏遺族との交渉など、多くの問題を含んでいますが、問題の次元や切り口を整理すると以下のように考えます。

- ①アドバイザー委嘱の一方的打ち切り(当事者の誠実性、心情問題)

- ②アドバイザー料(月額約23万円)の妥当性(労働対価としての妥当性)

- ③寄贈がアドバイザー委嘱を含んだ負担付き贈与か否か(契約形態)

- ④谷内作品の美術館における位置づけ(美術館の中核作品か否か)

- ⑤私人からの寄贈受けに対する、社会通念上の公的機関の責任(公的機関の社会的・道義的責任)

この事案は、今後、谷内家との交渉や、場合によっては訴訟となることも予想され、軽々な判断はできません。そして、横須賀美術館は建設時から反対運動があるなど、市民の間でも賛否の別れる事案であることから、十分な議論と慎重な判断が求められるものと考えます。

3(仮称)佐島の丘室内温水プールの寄附受納

6月15日、教育経済常任委員会において教育委員会から、佐島の丘室内温水プールの寄附受納について報告がありました。この室内温水プールは、佐島の丘地区を開発している京急電鉄が建設するもので、本年5月に寄附する旨の申し出があり、横須賀市が受納します。

建設地は市立大楠中学校の南側で、施設の規模は鉄骨平屋約1100㎡、全長25m、6コースの一般プールと幼児用プールが整備されます。本年7月に着工し、来年(平成23年)4月オープン予定です。

西地区の人々には待望のプールです。市内にはこれまで、北(北体育館)、東(サブアリーナ)、南(くりはま花の国)の3地区に室内温水プールが建設されていますが(裏面へつづく)

木下けんじへの期待・要望・ご意見などをお寄せ下さい。返信FAX 046-841-6326

氏名 _____ 連絡先 _____



市内プールの配置図

このプールの完成により市内4地区に室内温水プールが整備されることとなり、市民の皆さんが利用することとなります。
京急電鉄からの寄附(総事業費約4億円)ですから結構なことと思いますが、今後の維持管理費は年間約1億円(横須賀市負担)が見積られます。市の財政が厳しい中、維持管理費用の捻出には頭の痛いところです。

○教科書展示会視察

6月23日、横須賀市教育研究所を訪問し、教科書展示会を視察しました。
市立小中学校の教科書は、2年ごとに更新とのことで、展示会には来年度(23年度)に小学校で使用する教科書の候補検定本が、出版社毎に多数展示されていました。今後教育委員会の厳正な審査を経て、使用教科書が選定されます。また、展示場には中高の現用教科書も合わせて展示されていました。いずれの教科書も一冊ずつ手にとって見ることができます。写真が多用されビジュアル化されていることに驚きました。

教育研究所では教科書展示会視察に併せて、所内全般を見学させていただきました。研究所の書庫には古い教科書がライブラリとして保存されています。自分達が小学校時代に使用した教科書も保管されています。昔と現在の教科書を比べてみるのも面白いと思います。(教科書展示会は6月18日から7月1日まで教育研究所及びヴェルグよこすかで開催されました)



教科書展示会

ご存じですか？

○第40回戦没殉職船員追悼式

6月4日、県立観音崎公園「戦没船員の碑」前で、第40回戦没殉職船員追悼式が行われました。

今回は節目の年であり、天皇后陛下が行幸啓され、親しく供花をされました。全国から多数のご遺族・関係者が参集されましたが、式典は、海上自衛隊の全面的な支援と横須賀海洋少年団の奉仕活動により円滑に行われました。

戦没船員の碑は、海運・水産関係者をはじめ広く国民の募金により、昭和46年に観音崎公園に建立されました。同碑には、戦没船員6万609名、殉職船員2938名の御霊が吊われています。



戦没船員の碑

○教育経済常任委員会所管事務調査

6月17日、教育経済常任委員会所管事務調査として、以下の事項を視察しました。
教育経済常任委員会は、市役所の教育委員会、経済部及び上下水道局を所管しています。各部の担当事業の中で、ホットな事業を実際に見ることで、進捗状況等を良く把握することができました。

1 津久井小学校 (ICT活用教育について) — 教育委員会所管

本年度中に、市立小中学校等全校にパソコンやプロジェクターが整備されます。津久井小学校ではICT機器を活用した授業風景を視察しましたが、紙ベースではない授業に、子供たちは興味を覚えるようです。これからは、これらハードを有効に活用する、教育手法の開発が重要と考えます。

2 電力中央研究所 (電力中央研究所の概要及び集約・拡張について) — 経済部所管

平成21年3月、電力中央研究所は、東京・狛江地区の施設を横須賀・長坂地区へ集約・統合し、横須賀地区を研究の拠点として位置付けました。電力中央研究所は、事業規模年間約330億円の研究所で、電力事業に関して最先端の研究開発を行っています。また、集約統合に伴い、狛江地区から約250名の研究者が移動して来るとのことです。西地区の活性化に寄与するものと思います。

3 下町浄化センター (新系列増設工事について) — 上下水道局

下町浄化センターの新系列増設工事は、既存の水処理施設の老朽化に加えて、処理能力が不足していることから、平成6年に計画、平成16年から工事に着手し、平成21年12月から一部の運転を開始しています。下水処理は、環境保全のため、より高度の技術開発が求められています。



電力中央研究所

ホームページを開設しました。
御来訪をお待ちしています。
URL <http://k-kinoshita.jp/>

木下けんじの経歴
昭和25年生まれ
夏島小、追浜中、県立横須賀高校卒業
昭和48年防衛大卒業
以後海上自衛隊勤務 潜水艦艦長等
平成18年海上自衛隊定年退官

現在
横須賀海洋少年団 顧問
横須賀水交会 理事
隊友会横須賀支部 相談役